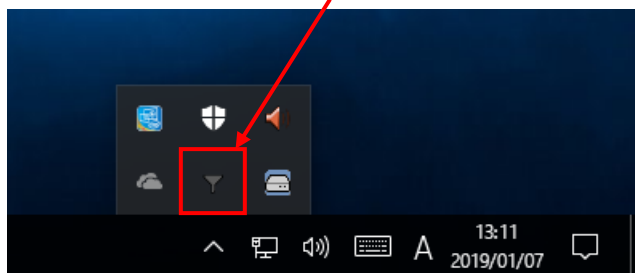


● UWFの特徴

- 産業用PCでは、OSやデータを守るため様々な機能があり、UWFはWindowsの持つファイルシステムの保護を行う機能です。
- UWFを有効にするとドライブを書込み禁止にした状態で、システムを正常に動作させることが可能です。組込みデバイスでは、書込み回数に制限のあるm-SATAへの書込みを抑止する必要があります。UWFは、組込みデバイスにおけるこのようなニーズに対して提供されている機能です。システム運用中に誤って設定ファイルの変更がされた場合でも、再起動することによってUWFを有効にする直前の状態に戻すこともできます。
- UWFは、電源断によるシステムディスクの保護は行いません。UWFを有効にしても、シャットダウンさせてから電源をOFFにしてください。(UPSを併用することでシステムを保護できます。)
- アルゴシステム独自のUWF Config Toolで、設定の手間を削減できます。

● アルゴシステムのUWF Config Tool設定

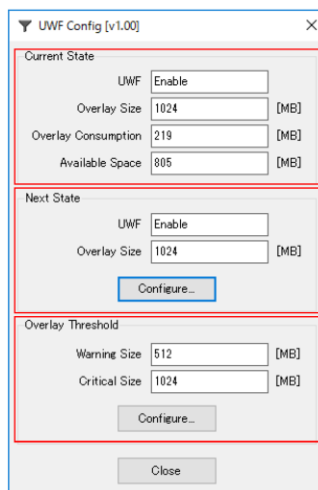
タスクトレイにアイコン表示



UWF無効時



UWF有効時



① 現在状態

② 次回起動時状態

③ オーバーレイ閾値

● 注意事項

- UWFによるシステムメモリの消費
UWFはオーバーレイにシステムメモリを使用します。OSとUWFオーバーレイでシステムメモリを共有する構成となるため、UWFオーバーレイで消費された分だけ、OSが利用できるメモリは少なくなります。
OSが必要とするメモリとUWFオーバーレイで消費するメモリの合計が搭載メモリのサイズを超えた場合のシステムの動作は保証されません。
- m-SATA リードディスターブについて
NAND FLASH ROMを使用しているストレージは、長い期間(40℃環境で約10年)が経過すると電子が抜けて、データ化けを起こす可能性があります。重要なデータはバックアップをとっておくことを推奨します。

● 対象製品

7A IoTシリーズ	AP7A・EC7A
4A IoTシリーズ (Windows版のみ)	AP4A・APS4A・EC4A・AS4A
4B IoTシリーズ	AP4B・APS4B・EC4B
4A UPSシリーズ (Windows版のみ)	AP4A・APS4A・APL4A・EC4A・AS4A

このカタログに記載された製品は、予告なしに仕様・機能・デザイン等を変更する場合がありますので、ご採用の際には最新の情報を弊社及び弊社製品取扱販売店までお問い合わせください。

2022年1月版